

# 「多面的・多角的に考える」

を重点とした道徳科の授業づくり

## 第2学年 道徳科学習指導案

### 1 主題名「いのちをかがやかせる」

(内容項目：D-19 生命の尊さ)

### 2 教材名「国境なき医師団 貫戸朋子」

(出典「中学道徳2 とびだそう未来へ」教育出版)

### 3 主題設定の理由

中学校の段階では、人間の生命の有限性や連続性だけでなく、自分が今ここにいるという偶然性や他の生命との関係性などの側面から、生命についてより多面的・多角的に捉え、生命の尊さを理解できるようになり、大切な命を尊重することについてより深く学ぶことができるようになる。指導にあたっては、生きとし生けるものの生命の尊さに気づかせ、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもてるように発問を工夫したい。

本学級では、これまでの道徳の授業においても生命の尊さについて学習している。生徒は、生まれてきたことは当たり前で、考えても意味がないことである生徒もいたが、命が大切であるということを理解して、「一日一日を大切に生きていきたい」「生まれてきたことに感謝しなければいけない」「生まれてくる子を祝ってあげたい」「自分でもとに戻せないのなら壊してはいけない」という考えを記述するなど、生命について多面的・多角的に考えられるようになってきている。

本教材においては、酸素を切るという決断は良かったのかという主発問について、ロイロノートのシンキングツール「座標軸」を用いて、自分の立場を明らかにしてその理由を考えていく。理由を考える前には、まず実際に酸素を止める決断をした貫戸さんの心情を考えさせる。それから、酸素を止められた男の子やその家族、治療を待っている人の気持ちなど、さまざまな人の立場の中で自分が重視する立場を考えさせる。そうすることで、生命には終わりがあり、その消滅は取り返しがつかないということや、生命はずっとつながっているとともに関わり合っているということを理解し、命を大切に生きていくとはどのようなことなのかを考えようとする態度を育成したい。

### 4 本時のねらい

紛争という極限状態における貫戸朋子さんの判断について考えることを通して、生命の連続性や有限性について考えを深め、命を大切にすることはどういうことなのかを考えていこうとする態度を育てる。

### 5 本授業のポイント

- ① さまざまな人の立場を考えて、その人の心情を考えるようにする。
- ② 心情について、クラスメートの考えを聞きながら、自分にはない考えを知ることができるようになる。

## 6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p><b>1 国境なき医師団について知る。(動画視聴)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医師は何のためにここで働くのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命を救うため</li> <li>・ 一人でも多くの人に生きてもらうため</li> <li>・ かわいそうな人を助けたいから</li> </ul> </li> <li>○ 命を大切にするとはどういうこと？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死なせない</li> <li>・ 何が何でも助ける</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇国境なき医師団が作成している YouTube 動画「いまこそ、国境を超える想像力を」を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助発問 あなたはここで働こうと思いませんか？ 医師はどうして命を救うのだろうか？</li> </ul>
展開	<p><b>2 教材を読み、考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貫戸さんは酸素を切るのにどうして5秒待ったのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男の子を死なせたくなかった。</li> <li>・ 看護師にダメと言われて、迷った。</li> <li>・ 良くなるかもしれないと思った。</li> </ul> </li> <li>○ どんな気持ちで酸素を切ったのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助けてあげられなくてごめんね。</li> <li>・ 次の人を必ず助ける。</li> <li>・ 男の子の死を無駄にしない。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題 酸素を切るという決断は良かったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 酸素を切るという決断は良かった？ (自分の立場をロイロノートのシンキングツール「座標軸」で示して理由をワークシートに記述し、座標軸上で近くにいる人と交流してから全体共有を行う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良くない。男の子は死んでしまった。男の子の親は悲しむ。人を助けるのが医師なのに、あきらめてはいけない。</li> <li>・ 良い。まだこれからたくさん来る患者さんを助けられるかもしれない。男の子は苦しんでいるから、楽になるかもしれない。酸素をあげても楽になっていないから。</li> <li>・ わからない。男の子にとっては良いけど、もし酸素がなくなったらほかの人を助けられないかも。</li> </ul> </li> <li>○ 酸素を切るという決断は良かった？(2回目) (自分の立場を再度「座標軸」で示す。再度、理由をワークシートに記述する。考えが変わった人を中心に、発表する。)</li> </ul>	<p>◇前半は教師が範読する。貫戸さんの話の部分は、「課外授業ようこそ先輩」(NHK アーカイブス)を流す。(18:40～)</p> <p>◇貫戸さんの話の中から、酸素は十分に使える状況ではないこと、男の子は酸素をあげても状況がまったく変わらなかったこと、看護師は切ってはダメという動作をしたことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇交流しながら、意見が変わったらいつでも自分の立場を変えても良いことを伝える。</li> <li>・ 補助発問 男の子、男の子の親、これから来る患者は、酸素を止めた決断をどのように思うだろう？</li> <li>◇決断をした貫戸さん自身も悩んでいることなのだから、はっきりとした判断ができる必要はないことを伝える。</li> </ul>

<p>終 末</p>	<p>○ 「命を大切に生きて生きる」とはどういうこと？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命を救えるか救えないかはわからないけどその命のことを考え続けること</li> <li>・ 助けてあげたいと思うこと</li> <li>・ 亡くなった人の分も一生懸命生きること</li> <li>・ 命は簡単に失われてはいけませんが、他の命も大切だから、そのために苦しい決断をしなければならないときもある。</li> </ul> <p>○ 振り返り、感想記述</p>	<p>◇自分なりの考えを持てれば良いこと、正解はないことを伝える。</p> <p>◇自分がどのように生きていくかを記述していても、貫戸さんの立場になって記述していても良い。</p> <p>◆貫戸さんの苦渋の決断について触れながら、命を大切にすることはどのようなことなのかについて、自分の考えを記述することができている。</p>
----------------	---	---